

安らかな日々には何時また戻れるや

満三年を迎えたコロナ疫は、衰える振りをしながらも着々とその勢力を広げ、名前は新型のままですが、すっかり身近な存在になって、私達の周りにもその感染経験者が現れるようになりました。治療薬も幾つか作られ、やがては落ち着いて 流感並みになることが期待される とも言え、未だ 前途遼遠。その一方で、昨年2月、ロシアのウクライナ侵攻騒ぎが新たに発生。当初は 遠く対岸の火事でしたが、徐々に様々な影響が出始め、インフレやら、エネルギー危機やら、何時しか 私達も燃え盛る炎の中に放り込まれている感じ。コロナとの板挟みで、アッチッチのゴッチッチ。最早 私達多くの市民が 改善に直接手を下せる状態ではなく、半ば諦めたのか、生活困窮におびえながらも、スマホの操作、スポーツ、旅行やエンタメ、などなどにうつつを抜かず日々。そんな中でも私達は、何とか途切れることなく歳を重ね、今や オケラ84歳、メケラ80歳、何かの折には、八十代の老夫婦 と呼ばれるようになりました。本年も相変わりがせず、宜しく願い申し上げます。

令和五年元旦

オケラ・メケラ